

# 環境と生活

## 無電柱化

電柱の存在は都市景観を悪化させ、道路交通の妨げになりやすいだけでなく、架空線の工事の際のクレーンによる切断や火災の影響など、安定したライフラインの供給

といった面でも問題があります。そこでポートサイド地区では電柱による架空線を廃止し、無電柱化による都市景観と施設安全管理のためケーブルボックス（CABシステム）を導入しました。



▲ CABシステムにより無電柱化となったギャラリーロード

安心できる生活エリア

ポートサイド地区内にはスーパーマーケットやコンビニ、ドラッグストア、早朝や

夜遅い時間に開店しているコンビニもあり、ちょっと買い物に行くには便利です。また、医療機関や郵便局もあって安心できる生活エリアです。



▲横浜ポートサイド内郵便局



▲井関医院



▲ポートサイド歯科



▲ポートサイド薬局



▲横浜ベイサイドデンタルクリニック

# 教育機関

## ホライゾンインターナショナルスクール

「We pride ourselves on being a diverse, multicultural」(国際色豊かでダイバーシティに富んだ環境を誇りに思っています)。ホライゾン学園の公用語は英語です。また国際バカロレア (IB:International Baccalaureate) 認定校として、国際的に認められた大学入学資格が取得できます。

本学園には、帰国子女のほか幼児期から本物の発音に触れさせて自然と英語を身につけさせたいご家庭など、幅広い生徒がいます。

また、外国人駐在員のご家庭も多く、現在世界50カ国以上の国と地域からの生徒が在籍しており、国際色豊かな教育環境となっています。幼児科から高等科まで) 学園全

体の児童生徒数は約450名ほどと、学校の規模としては、決して大きくないことから、学年クラス関係なく皆がお互いをよく知っています。

世界各国の教育機関での教育経験を持った教員らが、子ども達が国際的な視野を持って、自ら主体的に行動できる人材に育つよう、日々の教育活動に取り組んでいます。



▲学習する様子



▲ホライゾンインターナショナルスクール

### 星槎学園高等部 横浜ポートサイド校

2007年4月にポートサイド地区（F-1街区）にあるプラザ栄光ビルの6階に開校しました。学校教育法第55条に基づき、神奈川県教育委員会が指定した技能連携校です。開校当初は70名程しか居なかった生徒も、現在は150名程となりました。2015年からは「フリースクール横浜☆いちばんぼし」

もスタートし、なかなか学校に行けない小・中学生が30名程通って来ています。

高校生の進学率は90%以上で、様々な経験を通して自信を取り戻し、進学へと繋がっています。星槎は偏差値ではなく”変化値”の高い学校です。変化値とは「成長」です。笑顔が溢れる」学生生活を過ごし、社会に必要とされる人を目指しています。



▲星槎グループのクリエイティブイベントで活躍する生徒たち

生徒が考え、みんなに愛されているゆるキャラ



▲ゆるキャラ「ぼ~とん」  
（ポートサイド校）



▲ゆるキャラ「いっちー」  
（フリースクール横浜 いちばんぼし）

## おおぞら高等学院横浜キャンパス

おおぞら高等学院横浜キャンパスは2005年4月、学校法人 KTC 学園を母体とし、鹿児島県の屋久島に開校された単位制通信制高等学校である屋久島おおぞら高等学校のサポート校になります。

設立当初は KTC 中央高等学院として開校し、2018年よりおおぞら高等学院と改名致しました。

横浜キャンパスは2005年当初、横浜市西区に開校し、後に現地であるポートサイドサクラビルへと移転しました。『高卒資格がゴールじゃない。なりたい大人になるための学校』を教育理念とし、生徒たちが、一人ひとりの「なりたい大人像」を伸び伸びと描いていけるような体験や学びに重きを

置いた教育を実践しています。学び方のスタイルに合わせて二つの学科から選択することができ、なりたい大人になるためにやりたいことや興味あることを学べる多彩なコースが用意されています。

2023年現在、屋久島おおぞら高等学院には10,000人を越える生徒が在籍し、全国に46キャンパスあるおおぞら高等学院で自分にぴったりのコースで自分だけのコースを見つけて、キャンパスの交流、オンラインのつながりを通じながら高校生活を過ごしています。そんな中、横浜キャンパスは横浜きた東口より緑に囲まれたポートサイド公園を心地よい潮風を感じながら歩いてくると公園最東部に位置しています。一風変わった外観のキャンパスをご覧ください。



# 横浜市立幸ヶ谷小学校



幸ヶ谷小学校は、国道1号線沿いに位置し、令和5年度に創立95年をむかえる学校です。学校教育目標は、「自分 友だち 社会の幸せをつくる子ども」。平成25年12月からは、「ユネスコスクール」に承認され、ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）を推進しています。全校児童は720名を超え、全学年4学級の大きな学校です。幸ヶ谷小学校には、横浜にはじめて設置された通級指導教室、「きこえとことばの教室」があり、鶴見区神奈川区などから児童が通い、教育的ニーズに応じた個別の学習をしています。

校舎は、昭和60年建築のブルー棟と、児童数の増加にともない平成21年に完成したグリーン棟の2棟からなっています。グリーン棟は、バリアフリーや屋上菜園、校庭芝生など福祉・環境に配慮した建物となっており、騒音等の公害を防ぐため、全館に空調の設備を設置しています。



## 幸ヶ谷共育倶楽部

## PTA 活動

## おやじの会



地域ルーム



家庭や地域と協力した教育活動も活発です。子どもたちの教育活動を支えている「幸ヶ谷共育倶楽部」は、学校支援ボランティア組織です。学習サポート部、読書サポート部、安全見守り部、栽培緑化環境部の4つの部があり、学校からの要請に応じて、年間を通して活動しています。「PTA」や「おやじの会」の活動も盛んで、それぞれ、たくさんの大人が関わることによって子どもたちの学びを豊かにしています。

幸ヶ谷小の三大フェスティバル「スポーツフェスティバル（運動会）」「ステップアップフェスティバル（生活・総合の学習発表）」「ハッピー＆スマイル・デー（体験プログラム授業）」は、子どもたちの学びを発表し、学びを深めたり広げたりする行事となっています。

